

アカソハムシ (ハムシ科, ハムシ亜科) の日本における 地理的分布 (補遺)

鈴木邦雄¹⁾・南 雅之²⁾・大川秀雄³⁾

¹⁾ 〒 939-0364 射水市南太閤山 14-35 (kunimushi@shore.ocn.ne.jp)

²⁾ 〒 180-0004 武蔵野市吉祥寺本町 3-17-7 (minami8535@yahoo.co.jp)

³⁾ 〒 326-0043 足利市助戸仲町 820-1 (ohkawamusi@royal.ocn.ne.jp)

Supplementary Notes on Geographical Distribution of *Potaninia cyrtonoides* (Jacoby, 1885) (Chrysomelidae, Chrysomelinae) in Japan

Kunio SUZUKI¹⁾, Masayuki MINAMI²⁾ and Hideo OHKAWA³⁾

¹⁾ 14-35 Minami-Taikōyama, Imizu-shi, Toyama, 939-0364 Japan

²⁾ 3-17-7 Kichijōji-Honchō, Musashino-shi, Tokyo, 180-0004 Japan

³⁾ 820-1 Sukedo-nakachō, Ashikaga-shi, Tochigi, 326-0043 Japan

鈴木・南・斎藤 (2016) は、日本列島におけるアカソハムシ *Potaninia cyrtonoides* (Jacoby, 1885) の地理的分布に関する既知情報に手許の未公表データを加えて、本種が、本州の1都1府19県、四国3県および九州5県の計1都1府27県に生息分布していることを報告した。その後、群馬県下の記録を収載した文献 (須田, 1989) の存在を知った。また、大川の手許には、群馬・鳥取・徳島・愛媛・長崎などで採集されたデータ未公表の標本が多数ある。さらに、筆者らは、新たに、国土交通省が実施し、Web サイト上で公開している「河川水辺の国勢調査」事業の『河川環境データベース』で、筆者らが把握していた以外に関東 (埼玉県3ヶ所, 内1ヶ所は群馬県にまたがる), 中部 (愛知県1ヶ所, 岐阜県2ヶ所), 近畿 (京都府1ヶ所, 奈良県1ヶ所), 四国 (高知県2ヶ所) および九州 (大分県3ヶ所) の計13ヶ所で本種の生息が「確認」されている事実を知った。それらの中には、まだ生息地が知られていなかった京都府も含まれているが、種名が挙げられているだけで、採集データの詳細がまったく明記されておらず、標本の保管場所などに関する情報が欠如していてその同定などの正否の確認をすることも不可能で、科学的情報が備えるべき最重要の条件である再現可能性 repeatability の規準を満たしていない。このような分布情報の扱いをどうすべきかはひじょうに悩ましい問題であるが、状況に応じて参考資料として扱う以外ないであろう。

本稿では、前報後知り得た群馬県下の文献記録、大川の所蔵標本中採集データ未公表のもの、新たに知り得た文献記録2篇を取り纏めて報告する。また、上記『河川環境データベース』から本種の記録に関

する地方名/調査地域のダムおよび湖/水系名などの情報のみを抽出したものを、当該調査地域の中心になるダムや湖の位置する現行の行政区分上の県・郡・市・町・村名を記した上で、追加の参考記録として末尾の [] 内に収録しておくことにした。

本種の地理的分布は、今回新たに群馬県と京都府を加えて、本州の1都2府20県、四国3県および九州5県の計1都2府28県に及ぶことが判った。群馬県と京都府に関しては、近隣地域の状況から、既に前報で生息している可能性が大きいことを推測していた。

本種の生息地は、関東地方北部から四国・九州までかなり広範に及んでいるが、かなり局所的で、分布の空白地域の存在も目につく。前報でも指摘したように、後翅がほとんど退化縮小 (細翅 stenoptery) していて飛翔機能を欠くことが本種の地理的分布の主要な制限要因となっていることは疑いない。今後、東北6県、関東 (千葉県), 中部 (新潟県, 富山県), 中国 (島根県, 山口県), 四国 (香川県), 九州 (宮崎県, 鹿児島県) における発見が特に期待される。これも前報で指摘しておいたが、体色にはかなりの地理的変異が認められる。他の諸形態形質については、変異性の解析はほとんどなされてきていないが、特に地理的品種 geographical race, すなわち亜種分化 subspeciation の進行程度などに留意した集団標本に基づく地域個体群 local population 間の地理的変異の解析がなされることが強く期待されると共に分布の空白地域の調査も重要となるであろう。

表 1. アカソハムシの日本における新記録および追加産地一覧 Table 1. A list of additional and newly recorded habitats of *Potaninia cyrtoides* in Japan

都府県 The administrative divisions of Japan	産地Habitat/採集個体数No. specimens collected/採集年月日Collecting date/採集者Collector/文献References/[著者らの註 Authors' comments]
本州 HONSHU	
関東地方 Kantô District	
栃木県 Tochigi Pref.	+佐野市飛駒町 [安蘇郡田沼町] (奈良部山) /2♀♀/14-V-1995/大川秀雄/[鈴木所蔵] +同上 (丸岩岳) /3♂♂1♀/16-V-1994/大川秀雄/[鈴木所蔵] +同上 (黒沢) /1/7-V-2000/大川秀雄 +同上作原町小戸 (こうと) /1/14-V-2000/大川秀雄
群馬県 Gunma Pref.	*1 藤岡市上日野会場 Fujioka-shi (Kami-Hino - Kaisho) /2/30-V-1984/須田亨/須田 (1989)/[群馬県初記録] *同上赤久縄山/1/3-V-2002/大川秀雄 *藤岡市御荷鉢山林道/2♂♂2♀♀/29-V-1995/大川秀雄/[当林道は行政区画が複雑で採集地を特定できなかった][鈴木所蔵] *同上/4/29-V-1995/大川秀雄 *同上/4♂♂/2-VII-1995/大川秀雄/[鈴木所蔵] *同上/11/2-VII-1995/大川秀雄 *同上/1/8-V-2009/大川秀雄 *2 多野郡神流町神ヶ原 (諏訪山滋賀坂峠) Tano-gun (Kanna-machi - Kamigahara) /1♂/21-VI-2013/大川秀雄/[鈴木所蔵] *同上/2/21-VI-2013/大川秀雄
埼玉県 Saitama Pref.	#3 児玉郡神川町神流湖 (下久保ダム) [利根川水系] Kodama-gun (Kamikawa-machi ~ Lake Kanna-ko) [国交 (1993, 2003, 2012)] #4 秩父市秩父湖 (二瀬ダム) [荒川水系] Chichibu-shi (Lake Chichibu-ko) [国交 (1999, 2004)] #5 秩父市秩父さくら湖 (浦山ダム) [荒川水系] Chichibu-shi (Lake Chichibu-Sakura-ko) [国交 (2003, 2013)]
東京都 Tokyo Metropolitan Area	+八王子市裏高尾町/1/2-VII-2014/岸田泰則/松原・雛倉 (2016)
中部地方 Chûbu District	
岐阜県 Gifu Pref.	#6 下呂市東仙峡金山湖 (岩屋ダム) [木曾川水系] Gero-shi (Lake Tôsenkyô Kanayama-ko) [国交 (1993)] #7 揖斐郡揖斐川町奥いび湖 (横山ダム) [木曾川水系] Ibi-gun (Ibigawa-chô ~ Lake Oku-Ibi-ko) [国交 (2006)]
愛知県 Aichi Pref.	# 碧南市ほか (西尾市/岡崎市/豊田市など: 特定できず) 矢作川 [矢作川水系] Hekinan-shi and some neighboring area (Nishio-shi and some cities) [国交 (2003)]
京都府 Kyoto Pref.	*#8 宇治市宇治金井戸鳳凰湖 (天ヶ瀬ダム) [淀川水系] Uji-shi (Uji ~ Lake Houô-ko) [国交 (1995)]
奈良県 Nara Pref.	#9 五條市大塔町猿谷ダム湖 (猿谷ダム) [新宮川水系] Gojô-shi (Ôtô-chô ~ Lake Sarutani-Damu-ko) [国交 (1992)]
中国地方 Chûgoku District	
鳥取県 Tottori Pref.	+八頭郡若桜町氷ノ山/2/2-VI-2014/大川秀雄
四国 SHIKOKU	
徳島県 Tokushima Pref.	#10 阿南市 Anan-shi /-/-/-/-/吉田他 (2015) /[目録中に学名と和名のみ列挙. 具体的産地名は挙げてない] *#11 那珂郡那珂町 (木頭北川) Naka-gun (Naka-chô) /1♂/30-V-2009/大川秀雄/[鈴木所蔵] *同上/3/30-V-2009/大川秀雄
愛媛県 Ehime Pref.	+上浮穴郡久万高原町東川西谷川成/4/29-V-2009/大川秀雄
高知県 Kôchi Pref.	#12 土佐郡土佐町早明浦湖 (早明浦ダム) [吉野川水系] Tosa-gun (Tosa-chô ~ Lake Sameura-ko) [国交 (2003)] #13 吾川郡仁淀川町茶霧湖 (大渡ダム) [仁淀川水系] Agawa-gun (Niyodogawa-chô ~ Lake Sagiri-ko) [国交 (1994, 2002, 2008)]
九州 KYUSHU	
大分県 Ôita Pref.	#14 中津市耶馬溪町耶馬溪湖 (耶馬溪ダム) [山国川水系] Nakatsu-shi (Yabakei-machi ~ Lake Yabakei-ko) [国交 (2006)] #15 日田市大山町梅林湖 (松原ダム) [筑後川水系] Hita-shi (Oyama-machi ~ Lake Bairin-ko) [国交 (1993, 1994, 1999, 2010)] # 日田市中津江村蜂の巣湖 (下釜ダム) [筑後川水系] Hita-shi (Nakatsue-mura ~ Lake Hachinosu-ko) [国交 (1999, 2004, 2010)]
長崎県 Nagasaki Pref.	*#16 諫早市高来町多良岳 Isahaya-shi (Takaki-chô ~ Mt. Tara-dake) /1/30-V-2000/大川秀雄

収録の書式の詳細は、鈴木・南・斉藤 (2016) を参照されたい。*: 新産地; +: 既産地の追加記録; #: 参考記録。須田 (1989) は前報での収録漏れの文献、松原・雛倉 (2016) は筆者らの前報公表後に公表された文献記録。大川採集の標本中、鈴木が所蔵する標本には [鈴木所蔵] と記した。国土交通省の『河川環境データベース』(国交と略) に挙げられた産地は、全て参考記録として扱ったが、産地がかなり具体的に特定できたもののみ地図上にプロットした。

引用文献

国土交通省水管理・国土保全局水情報国土データ管理センター『河川環境データベース』(河川水辺の国勢調査).

<http://mizukoku.niim.go.jp/ksnkankyo/> (最終アクセス日 2017年9月27日)

松原 豊・雛倉正人, 2016. コウチュウ目 Coleoptera. 八王子市市史編集専門部会自然部会編『新八王子市史自然調査

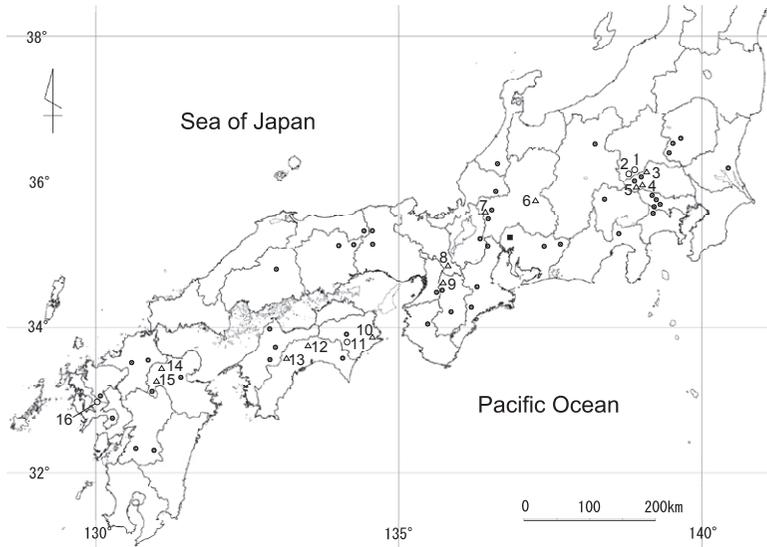


図1. 日本におけるアカソハムシの地理的分布. 本地図の縮尺では、前報の図2(鈴木ら, 2016; p. 12)の地図上に示した既知産地(本地図では産地番号を省いて●で表示)と同一あるいはほぼ重なる近隣の産地は、新たに追加していない. 本報告に追加される新産地のうち、採集データを表1に収録してあるものは○で表示し、同表の数字と対応させてある. 採集データを伴わない参考記録として収録した産地は△で表示した. Fig. 1. Geographical distribution of *Potaninia cyrtonoides* in Japan. ●: Representative known habitats shown on the map without habitat numbers; ○: newly added habitats with habitat numbers corresponding to those in Table 1.

報告書: 八王子市動植物目録』(iv + 562 pp.): 296-379. 八王子市史編さん室, 八王子.
 須田 亨, 1989. 鞘翅目. 『藤岡市史 自然目録編』(546 pp.): 243-289.
 鈴木邦雄・南 雅之・斎藤昌弘, 2016. アカソハムシ(ハムシ科, ハムシ亜科)の日本における地理的分布. さやばねニューシリーズ, (22): 8-18.

吉田正隆・西川 勝・櫻木大介, 2015. 阿南市の甲虫. 阿波学会紀要, (60): 57-66.

(2017年12月17日受領, 2018年3月3日受理)

【短報】四国におけるリュウキュウダエンチビドロムシの初記録

リュウキュウダエンチビドロムシ *Pelochares ryukyuensis* Satô (チビドロムシ科) は、本州(東京都, 広島県), 南西諸島(宝島, 奄美大島, 沖繩島, 西表島, 与那国島) および台湾から記録されている (Satô, 1966; Yoshitomi, 2007; 伊藤・前原, 2017). 伊藤・前原 (2017) は、四国および九州にも生息している可能性を示唆していたが、筆者は四国产の標本を

所持しているの、四国初記録として報告する.

同定は Satô (1966), 伊藤・前原 (2017) を参考にした.

報告に先立ち、採集にご同行頂いた東海大学の北野忠教授にお礼申し上げる.

1 ex., 愛媛県北宇和郡鬼北町奈良, 3. IX. 2017, 渡部

採集・保管(図1): 1 ex., 愛媛県北宇和郡鬼北町東仲, 3. IX. 2017, 渡部採集・保管; 1 ex., 愛媛県東温市田窪三ヶ村泉, 18. VII. 2017, 山本採集・愛媛大学ミュージアム保管.

いずれも灯火に飛来した個体を採集したものである.

本種は、類似種のチビドロムシ *Limnichus lewisi* Nakane として誤同定された事例が報告されている (伊藤・前原, 2017). 四国においても本種の分布が確認されたことから、過去に四国から記録されたチビドロムシの記録も再検討の必要があると考えられる.

引用文献

- 伊藤 淳・前原和雄, 2017. 本州のリュウキュウダエンチビドロムシとチビドロムシ. さやばねニューシリーズ, (28): 36-37.
- Satô, M., 1966. The Limnichid-beetles of Japan. Transaction of the Shikoku Entomological Society, 9 (2): 55-62.
- Yoshitomi, H., 2007. A new record of *Pelochares ryukyuensis* (Coleoptera, Limnichidae) from the Island of Yonaguni-jima. Elytra, Tokyo, 35 (2): 528.

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地 石川県ふれあい昆虫館) (山本栄治 山本森林生物研究所)



図1. 愛媛県鬼北町産リュウキュウダエンチビドロムシ.